

平成 29 年度

広島県教師養成塾 募集要項



広島県教育委員会

平成 29 年度広島県教師養成塾募集要項

1 目的

広島県教師養成塾（以下「教師塾」という。）は、本県の小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校小学部を含む。以下「小学校」という。）教員を志す大学生を対象に、3年間にわたり継続的に実地研修や集合研修を実施することにより、大学等で学ぶ理論と実践の往還による実践的指導力の基礎の育成を図るとともに、中山間地域をはじめとした広島県教育を担う人材の育成に資することを目的とする。

2 各研修のねらいと内容

本教師塾は、実地研修と集合研修を柱とし、大学1年次から3年次までの3年間にわたり、以下のねらいに応じた内容の研修を実施する。

研 修	実 地 研 修	集 合 研 修
対象学年	大学1・2年次	大学1・2・3年次
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とのふれあいを通して教職の魅力を実感し、教育に対する情熱や使命感を涵養する。 ・教員の仕事を体験し、教員の喜びや苦労を通して教職についての理解や意欲を高める。 ・中山間地域等における教育環境や特色等を知り、その魅力を実感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島版「学びの変革」アクション・プラン等を理解し、広島県の教育施策についての見識を広げ深める。 ・他大学の学生との交流を通して、視野を広げたり、物の見方・考え方を深めたりする。 ・実地研修との往還で教員に求められる資質を理解し、自らの適格性を把握する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とのふれあい活動 ・授業観察やその補助 ・運動会などの学校行事の運営補助 ・「山・海・島」体験活動などの特別活動の運営補助 ・教員の業務全般に係る観察 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県の教育施策 ・小学校教員の魅力とやりがい ・学力向上に向けた広島県の取組 ・生徒指導や特別支援教育の実際 ・授業づくりと模擬授業 など

〔原則、大学1年次に入塾し、大学3年次で修了とする。〕
 ・3年間の課程を修了した塾生には、卒塾証書（修了証書）を授与する。〕

3 応募要件

次の(1)～(4)の要件を満たす者であること。

- (1) 平成29年度入学の大学1年次生であり、将来、広島県内の各市町立（広島市を除く）の小学校で教職に就くことを志望する者であること。
- (2) 3年間にわたり継続的に受講する意志があること。
- (3) 大学卒業時に小学校教諭一種免許状取得予定であること。
- (4) 本教師塾における活動中の不測の事態に備え、自分自身のけが等や対人（相手側）及び対物（施設・備品等）賠償に適用できる保険（学研災付帯賠償責任保険（学研賠）等）に加入していること。

4 塾生決定までの手続

- (1) 募集人数：100人程度
- (2) 入塾申込書等の作成
 - ① 「入塾申込書（様式1）」
 - ・電子データに必要な事項を入力し印刷後、黒ボールペンを用いて署名すること。
 なお、写真貼付欄に写真を貼ること。
 - ② 3 応募要件(4)の要件を満たすことを証明する「保険加入証明書（様式2）」
 - ③ 「推薦者一覧表（別紙）」※指定大学のみ、所管部署が作成

(3) 申込方法，塾生決定等

指定大学の在籍者

① 指定大学

- ・比治山大学，広島修道大学，広島女学院大学，広島大学，広島都市学園大学，広島文化学園大学，広島文教女子大学，福山市立大学，福山平成大学，安田女子大学

② 申込方法

- ・入塾希望者は，入塾申込書等を作成し，各在籍大学の所管部署へ申し込むこと。
- ・各指定大学の所管部署は，入塾申込書等を取りまとめ，推薦者一覧表（別紙）を作成の上，広島県教育委員会に提出すること。

③ 受付期間

ア) 各大学の所管部署提出期間【入塾希望者 ⇒ 大学所管部署】

- ・各大学の所管部署が定める期間

イ) 広島県教育委員会受付期間【大学所管部署 ⇒ 広島県教育委員会】

- ・平成 29 年 9 月 4 日（月）午前 9 時から 平成 29 年 9 月 8 日（金）午後 5 時まで

④ 提出方法

- ・入塾希望者は，署名し写真を貼った入塾申込書等（様式 1 及び 2）を在籍する大学の所管部署に，入塾申込書（様式 1）の電子データ（Excel ファイル）とともに提出すること。
- ・大学所管部署は，作成した入塾申込書（様式 1）の電子データ（Excel）を取りまとめ，(4)提出先に示すメールアドレスに，推薦者一覧表（別紙）の電子データ（Excel）と併せて送信すること。その際，電子データ（Excel）にはパスワードをかけるとともに，別途パスワードを明記したメールを送信すること。
- ・メール送信後，1 週間以内に，署名し写真を貼った入塾申込書等（様式 1 及び 2）を(4)提出先に示す場所に，郵送（簡易書留）又は持参すること。

指定大学以外の大学の在籍者

① 申込方法

- ・入塾希望者は，個人で広島県教育委員会へ申し込むこと。

② 受付期間【入塾希望者 ⇒ 広島県教育委員会】

- ・平成 29 年 9 月 4 日（月）午前 9 時から 平成 29 年 9 月 8 日（金）午後 5 時まで

③ 提出方法

- ・入塾希望者は，作成した入塾申込書（様式 1）の電子データ（Excel）を，(4)提出先に示すメールアドレスに送信すること。その際，電子データ（Excel）にはパスワードをかけるとともに，別途パスワードを明記したメールを送信すること。
- ・メール送信後，1 週間以内に，署名し写真を貼った入塾申込書等（様式 1 及び 2）を(4)提出先に示す場所に，郵送（簡易書留）又は持参すること。

④ 塾生決定方法

- ・決定方法は，原則，電子データ（Excel）による申込の先着順とするが，同一大学からの塾生は最大 3 名までとして調整する。

(4) 提出先

広島県教育委員会事務局管理部教職員課採用研修係
〒730-8514 広島市中区基町 9-42（県庁東館 5 階）
電話 082-513-4927 （エール）

メールアドレス（kyouikukenshu@pref.hiroshima.lg.jp）※全て半角英字

(5) 塾生決定の通知

広島県教育委員会から指定大学の在籍者には在籍する大学の所管部署に，指定大学以外の大学の在籍者には入塾希望者本人に，平成 29 年 9 月 27 日（水）までに入塾の可否を通知する。

5 辞退勧告

入塾後、次の場合は、退塾を許可、又は受講を取り消すことがある。

- (1) 塾生が家庭の事情等で研修を継続することが困難であるとき。
- (2) 遅刻・欠席が著しく、また、指導に従わない等、塾生としての適格性を欠くとき。
- (3) その他、研修の目的を達成することが困難であると判断される時。

6 広島県教師養成塾1年目の日程

集合研修		実地研修
月日	時間・内容等	
第1回 10月15日(日)	10:00 ～10:20	○入塾式
	10:20 ～12:00	○オリエンテーション (グループ分け含む)
		○実地研修について ・目的、心構え及び留意点
	13:00 ～14:15	○授業参観等の視点 ・公開研究会等の紹介及び参観の視点等
		○児童の手本となるマナー講座
		○児童の発達段階に応じた対応
	15:40 ～16:00	○本日の振り返り及び諸連絡
第2回 11月5日(日)	10:00 ～10:10	○オリエンテーション (本日の研修の確認等)
	10:10 ～12:00	○広島県の教員の日 ・広島県教育施策を踏まえて
	13:00 ～14:15	○小学校教員の魅力とやりがい
	14:30 ～15:30	○グループ協議
	15:40 ～16:00	○本日の振り返り及び諸連絡
第3回 3月2日(金)	集合時・場 所等は別途 指示	○中山間地域の学校訪問 【西部：江田島市立鹿川小学校】 【中部：安芸高田市立美土里小学校】 【東部：神石高原町立油木小学校】

11月上旬

3月中旬

7 広島県教師養成塾における3年間の主な内容について

学年	月	主 な 内 容	
大学 1年次	10	入塾式	
		集合研修Ⅰ-①	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・実地研修について ・授業参観等の視点 ・児童の手本となるマナー講座 ・児童の発達段階に応じた対応
		実地研修校訪問	・研修スケジュール決定
	11	集合研修Ⅰ-②	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県の教員の一日 ・小学校教員の魅力とやりがい
		実地研修（11月上旬～翌年3月中旬：20時間以上） 【目的】 児童とのふれあい活動を中心として、児童理解を図り、教育に対する情熱や使命感を涵養する。 【内容】 児童の話し相手、遊び相手、学校行事への参加、授業参観やその補助等	
3	集合研修Ⅰ-③	・中山間地域の学校訪問	
大学 2年次	4	実地研修（4月中旬～翌年3月中旬：40時間以上） 【目的】 実際に教員の仕事を体験し、教員の喜びや苦勞を通して、教職についての理解や意欲を高める。 【内容】 教員の業務全般に係る補助や授業参観等	
	10	集合研修Ⅱ-①	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案作成上の留意点等 ・発問、ノート指導、板書計画等 ・人を育てることの素晴らしさ、責任の重さについて
	3	集合研修Ⅱ-②	・優れた授業の参観
大学 3年次	11	集合研修Ⅲ-①	<ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員としての心構え ・学びの変革「アクション・プラン」について
	12	集合研修Ⅲ-②	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導について（生徒指導、特別支援教育等） ・教材研究の仕方等
		集合研修Ⅲ-③	・主体的な学びを促す授業とは（指導教諭による示範授業）
	1	集合研修Ⅲ-④	・塾生による模擬授業
	2	集合研修Ⅲ-⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の特性に応じた指導について ・学校組織について
	3	集合研修Ⅲ-⑥	・未来の先生へ（広島県の小学校に求められる教員像）
卒塾式		・卒塾証書（修了証書）授与等	

8 その他

- (1) 本教師塾に係る研修経費（教材費等）は無料とする。なお、保険加入料、交通費及び食費などの個人に係る全ての経費は自己負担とする。
- (2) 研修中、事故等が起きた場合は、広島県教育委員会教職員課採用研修係に連絡するとともに、速やかに保険等を活用するよう手続きを始めること。
- (3) 実地研修実施前までには、はしか（麻疹）・風しんの予防接種を受けていることが望ましい。なお、実地研修受入校から予防接種を求められた場合は、速やかに応じること。

広島県教師養成塾におけるQ & A

Q 1 : 塾生は、広島県・広島市の教員採用候補者選考試験（以下「採用試験」という。）を必ず受験しなければいけませんか。

A 1 : 本教師塾は、採用試験とは無関係のため、採用試験の受験を必須とはしていません。

しかし、広島県教育委員会の施策に沿った様々な研修等を計画していますので、将来広島県内の各市町（広島市を除く）の小学校教員を志望する方には是非受講していただきたいと考えています。

Q 2 : 卒塾するためには、集合研修・実地研修を全て受講しなければいけませんか。

A 2 : 応募要件にもあるとおり、原則として、全て参加することとしています。体調不良などで、やむを得ず欠席する場合、集合研修は広島県教育委員会教職員課採用研修係（電話番号：082-513-4927）に、実地研修は受入校に、必ず連絡してください。

Q 3 : 塾生は、採用試験において、試験の一部が免除されるなどの措置はありますか。

A 3 : 本教師塾は、採用試験とは無関係のため、特別な措置はありません。本教師塾で学び身に付けたことが、本県の小学校教員として入職した直後から生かされると考えています。

Q 4 : 現在、学校支援ボランティアなどに参加しているのですが、実地研修の代替になりますか。

A 4 : 参加実態を確認した後、研修内容と重複していると判断した場合は、実地研修の代替として認めます。なお、広島市が実施する「大学生による学校支援活動」は代替にはなりません。

Q 5 : 実地研修は、どこの小学校に配置されるのですか。

A 5 : 広島市を除く広島県内 22 市町が設置する小学校に配置されます。入塾希望者が申込書に記入した第 1 希望から第 3 希望を踏まえて、広島県教育委員会が各市町教育委員会と調整の上、塾生の受入校を決定します。

Q 6 : 県外にある大学に在籍しています。定期的に実地研修に行くことができない場合、どうしたらよいですか。

A 6 : 実地研修は、回数ではなく、時間単位で実施することとしており、大学 1 年次は 20 時間以上、大学 2 年次は 40 時間以上実施することになります。よって、大学の長期休業等を活用し、集中的に実施することが可能です。

Q 7 : 集合研修は、何回実施するのですか。

A 7 : 学年に応じた研修内容を考えているため、学年によって回数は異なります。大学 1 年次で 3 回（入塾式を含む）、大学 2 年次で 2 回、大学 3 年次で 6 回（卒塾式を含む）実施します。

Q 8 : 事情により、大学の長期休業中等に実地研修のみ参加することは可能ですか。また、可能である場合、手続きはどのようにすればよいですか。

A 8 : 実地研修受入校の状況によりますが、参加は可能です。ただし、実地研修のみの参加は、本教師塾の目的を達成することができません。そこで、広島県教師養成塾を活用した「学校インターンシップ」（以下、「学校インターンシップ」という。）を実施します。手続きについては、別途学校インターンシップ募集要項を参照してください。

なお、学校インターンシップ受講生においても、大学1年次の事前研修会（平成29年10月15日開催）及び大学2年次の学校インターンシップ修了式（平成31年3月予定）には必ず参加することになります。

Q 9 : 入塾できなかった場合も、学校インターンシップを受講できますか。その場合、手続きは必要ですか。

A 9 : 学校インターンシップの受入可能人数内であれば受講できます。

手続きについては、本教師塾の入塾申込書の中で、学校インターンシップ受講希望調査欄を「有」としてください。本教師塾に入塾できなかった場合、学校インターンシップへの応募者として扱います。（学校インターンシップへ申し込む必要はありません。）

Q 10 : 実地研修は、訪れたことのない市（町）を希望しようと考えていますが、宿泊施設を紹介していただけますか。

A 10 : ほとんどの地区に宿泊施設があります。希望される方は広島県教育委員会教職員課採用研修係に御相談ください。

Q 11 : 保険（学研災付帯賠償責任保険（学研賠）等）に加入していなければ入塾できませんか。また、広島県教育委員会で斡旋（仲介）を行っていただけますか。

A 11 : 塾生の皆さんをはじめ、本教師塾に関わる全ての方々が安心して研修を実施していただくため、保険の加入は必須としています。なお、広島県教育委員会による保険の斡旋（仲介）はできませんが、相談に応じることは可能です。

Q 12 : 入塾できなかった場合、研修で配付された資料等をいただけますか。

A 12 : 広島県教育委員会のホームページ（ホットライン教育ひろしま）において、集合研修で活用した資料を提供します。ただし、著作権等の関係で提供できない資料があることを御了承ください。



広島県教師養成塾に関する問合せ先

広島県教育委員会事務局管理部教職員課採用研修係

〒730-8514

広島県広島市中区基町9-42（県庁東館5階）

電話 082-513-4927

メールアドレス (kyouikukenshu@pref.hiroshima.lg.jp)

HP (<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/hiroshimakennkyouseiyouseijyuku.html>)

